

新発明

マスク エアコン[®]

呼吸から 熱中症対策

きれいな+冷たい空気

マスクエアコンは、あらゆるユーザーに簡単に着用し使用できる。とてもシンプルな構造だ。
すでに販売実績がある人間エアコンを体外からの吸熱に対し、マスクエアコンは体内から体温を冷やす。

水管を循環する冷えた水がフィルム内をめぐり、呼吸する空気に合わせ体内に吸入し、冷気を体内に運ぶ。

着用した感じ、冷たい呼吸の体感が乏しく、劇的な体感を得ることができないが、確実に呼吸に冷気を追加することに成功した。

体に接触する、頬の部分や、チューブなどは強い冷感を感じ、その効果を感じることができる。

呼吸に違和感がなく、従来のマスクに冷感が乗った感じで、特別、呼吸がしんどいといったことはない。
理由としては、立体マスクや、プリーツタイプのマスクなどにより、口元とマスクとの間に、一定の距離があるためで、呼吸がすごく楽。
マスクエアコンの構造も立体構造のため、安定した呼吸を実現している。初期状態では平面である製品も、かんたんに組み立てると、即座に立体型に変形する。

マスクエアコンは洗って何度でも使用することができる。
台所洗剤やハンドソープを使用して洗えるほか、お鍋などで煮沸消毒にも対応する。

使用するマスクは、市販の使い捨て立体型マスクを推奨する。

マスクエアコンは構造上、従来のマスク姿から外観の変化が少なく、見る人からの外観上の違和感を最小限に留めるようにした。誰もマスク内が冷えていることに気が付かないだろう。

シリコンチューブは耳掛けを通して、衣類内に隠せば、まるで、音楽プレーヤーを聞いている人にしか見えない。擬態化した格好だ。

見栄えを気にする、マスク文化にはもってこいの製品だ。

マスクエアコン



呼吸から 熱中症対策



マスクエアコン[®] 3D 熱中症対策製品

Cool Smile.

衛生用マスクとして開発

マスクエアコン本来の利用用途は、セントラルキッチンなどの衛生上マスクを着用する現場を想定し、開発された。高温多湿な現場を救うべく製品化を予定されていた。

最新版のBM-2E型では、結露により発生する水滴に対して、吸収して水たれを防ぐ、交換型の結露吸収材を用意した。

また、着用する外観を損なわないよう、シリコンチューブ配管を耳掛け式とした。これにより、安定性向上と使用時のわずらわしさを低減。



マスクかけ部

チューブ

誰もが笑顔になれるマスクを

クールスマイルは、熱中症対策専門メーカーとして2011年3月、製品開発をスタートさせました。

「暑さと戦う、現場のために」

「ニッポンを冷やそう！」のスローガンを掲げ、

熱中症対策のテーマにまじめに取り組んで

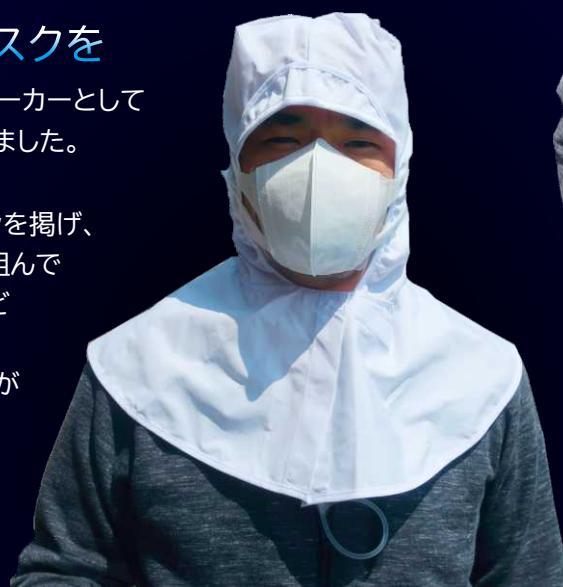
参りました。人間エアコンシリーズなど

沢山の製品を手掛けてきました。

BM-2Eマスクエアコンにもその精神が

受け継がれています。

可能な限り、熱中症で苦しむ人々を救いたい。



大阪の発明家 中西雄三



水循環ユニット装着例

立体テクノロジー

マスクエアコンは、かんたん組み立て式で、すぐにお使いいただけます。立体フックを凹部に挿入し、固定します。

結露吸収材もフック式で組み立てて、ループを作り、その間に結露吸収材を挿入する。

組み立て後は、ちょうどマスクの内側に沿う形になり、口元は隙間があり、鼻や唇には接触しない。

体型によって、頬部分に面水管が接触し、冷感を感じることができる。マスクスリットに(立体マスクの場合は)マスク紐部分を通し、チューブと一緒に耳(または、マスクかけ部)にかける。とてもシンプルかつ、合理的な構造です。

マスクかけ部

Cool

面水管

立体フック

吸排気穴

チューブ

マスクスリット

結露吸収材